

# 箱根組ニュース

第331号 2020年9月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 浅間嶺の景色を堪能！ 大岳山、

## 御前山など奥多摩の峰々からさわやかな風が吹いていた。

梅雨明けした8月は連日の猛暑が続いています。

終息しないコロナウイルスの中、猛暑の都心から脱出して少しでも涼を求めると、標高900mほどの浅間嶺に出かけました。

8月16日(日) JR東京駅発7時7分の中央特快高尾行きに乗車。立川で青梅線奥多摩行きに乗り換え、拝島で五日市線に乗り換えて武蔵五日市駅に8時34分着。

降り立ったのは、三田村、佐藤夫妻、有倉、布施、友定、太田、星野(幸)、谷田、和田、神吉、星野、戸丸の13名。

まずは混雑が予想されるので数馬行きのバス停に並ぶ。すでに20名ほどの登山客が並んでいる。バス停にザックを置いて順番を確保しておいて、左手交番奥のトイレに向かう。

9時発のバスは臨時が出て計3台で出発。メンバーの13名も全員座れることができて一安心。このところ他県へ出かけることを控えているのでこの路線の利用はとて多くなった。しかし東京

の山は奥が深いのでまだまだ登るところはたくさんあるようだ。

車窓からは懐かしいなじみの景色を眺めながら進むのでなかなか楽しい。戸倉城址、忘年会の河原や、戸倉三山からの下山場所の荷田子バス停やトイレ。檜原村役場を過ぎると右側には弘沢の滝や馬頭刈山や大岳山からの下りのルートなど何度も来ている所だ。

道路はサイクリングなどの人が多くて少し予定より遅れて、9時45分頃、人里(へんぼり)バス停下車。

バス停を数メートル戻ると角に浅間尾根の案内標識があり、これを入れてゆく。集落の間のコンクリートの坂道でこのルートで一番きつい坂かもしれない。すぐに左側に大きな広場がある。人里コミュニティセンターの前の運動場のような広場だ。一番奥に立派なトイレがある。ここで身支度と自己紹介、簡単なストレッチを行う。陽射しがとても強い。

10時5分、出発。右側に立派な建物のお宅がある。銅葺きと思われるこれま



た立派な門があり、「幸福の里人里・幸福の門」と書いてある。これをくぐるると幸福になるとこの屋のご主人に勧められ、全員くぐらせてもらう。幸福ゲット。道端のキバナコスモス、八重？のひまわりの黄色が美しい。道は傾斜がきつくなってくる。左側に大きなバナナの木がこんもりと密集して小さな森のようになっている。名残のアジサイも咲いている。

10時20分、最後の民家の前の道が一段と坂がきつくなる。ここのご主人が横に流れる湧水をどうぞ飲んでくださいというので頂くことにする。冷たくて美味しい水だ。沢にはわさびも生えていてきれいな水ということが分かる。皆で水をいただいて、顔を洗ったり、ペット

ボトルに補給したり、ルートのオアシスになった。

10時28分、出発。民家の上を左に曲がってゆく。左に落ちこんだ狭い草深い道、気を付けて進む。すぐに林の

なかに入り日陰になるととても涼しくなる。萩の花も咲いている。ヒノキの植林地を登っていく。

11時10分、右側に家が現れる。3年前に「ぽつんと一軒家」とかいうのに出たらしい。しかし今はほとんど手入れがされていないように入れている様子もなかった。どうぞお入りくださいと書いてあるので入ってみたが水も出ていないし、立派な家だがちよっと残念な感じだった。ルートに戻る。

11時53分、左上に小さな祠がある。岩の上に数本の大きな木があり。その間に安置されている。

12時10分。人里峠着。12時15分発。ここからは浅間尾根の快適な道だ。峠を右方向へ進む。

5分ほどで景色が開ける、大岳山、御前山など奥多摩の山並みが広がる。少し進むと左奥には三頭山らしき姿も、奥多摩三山が見える素晴らしい地点だ。眼下のまばらな

9月20日(日)三頭山(1531m)。

レギュラーコース 歩行4時間20分

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

武蔵五日市駅から急行都民の森行きバスで都民の森へ、鞆峠経由で三頭山の三つのピークを目指します。下りはムシカリ峠、大沢山、榎寄山を経由して仲の平バス停に下ります。

○持ち物 マスク(予備マスク)、お弁当、飲料水、傘、雨具、スパッツ、非常食、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 9月18日(金)までに

現在の収支	27198 円
繰越	
支出	500 円
HP等作成費	500 円
現在高	26698 円

切手残数	116 枚
84円切手	116 枚
40円切手	131 枚

集合 9月20日(日)JR新宿駅(11番線)  
6:46発 ホリデー快速あきがわ1号  
武蔵五日市行き(前から3両目車内)  
※注意 奥多摩行き車両に乗らないこと  
途中駅発

中野 6:50 三鷹 6:59 国分寺 7:06  
立川 7:15 西立川 7:19 拝島 7:32

武蔵五日市 7:55着(バス乗換)  
8:10 急行都民の森行 9:18着

交通費 新宿～武蔵五日市 往復1628円  
武蔵五日市～都民の森 954円  
仲の平～武蔵五日市 954円

●お申し込み・お問い合わせ  
Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

集落と山深い奥多摩の対比も面白い。

12時30分、尾根道との分岐。どちらにも休憩所に着くが左のなだらかな道を進む。いったん美しい雑木林になり、それを抜けると右に浅間嶺休憩所の看板。

12時43分、休憩所到着。右側にトイレがある。小休止。少し南方向に進んで十字路を左に登ってゆく。左側に一本の白樺の木が立っている。この標高では白樺は珍しい。

12時55分、浅間嶺展望台に到着。大岳山、御前山がよく見える。



標識横に大きなテーブルとベンチが

二か所ある。先客はいないので二つのテーブルで昼食。何人かが冷やしたビールを持参してきたのでこれで乾杯。持ち寄りのお惣菜と梅酒もあり豪華なパーティーになる。

2時35分、記念撮影をして下山開始。まずは降りてすぐの休憩所でトイレ休憩。

3時再出発。上川乗バス停を目指して下ってゆく。ピンクのフシグロセンノウが咲いている。緩やかな下りの連続だ。4時42分、民家の横に出てすぐに車道にでる。左に進む。

4時45分、上川乗バス停着。すぐ上にあるトイレで着替えたりしていると、どなたかが井戸水を使っていると言われたとのこと。言ってみると手押しポンプを漕ぐと冷たい水が沢山出てくる。甘くておいしい。頭からかぶると冷たくてとても気持ちよかった。

5時47分までバスがないと思っていたら、布施さんがスマホで調べて5時9分の急行バスがあることを発見。一日2本しかない急行だ。皆に知らせず無事全員乗れた。バスは渋滞の影響で少し遅れた。五日市駅改札前で解散。

一本電車を遅らせて、先日から飲みたかった武蔵五日市駅コンビニの生ビール

ルを無事購入して駅のホームで数人でミニ打ち上げ。冷たくて美味しかった。



### ※新型コロナウイルス対応

●マスクの使用について

電車、バス、タクシーの車内、また混雑している所ではマスクを付けましょう。

●消毒用アルコール等も利用して安全を確保しましょう。

山を歩いているときはお互いの距離を開けて歩きましょう。

昼食時あまり密集しないように気を付けてみましょう。

